

第 113 回目の GIS News! です

5月は田植をする月なので「早苗月（さなへつき）」と言われ「さつき」と短くなったとの説もあります。ゴールデンウィークあけから山形県庄内地方では田植えが本格的に始まりました。

さて、今回は田舎暮らしと農業分野での GIS 利用について紹介します。

国交省「時々田舎暮らし」情報サイト開設

国交省は GIS（地理情報システム）を活用して、都市と地方の双方に生活の拠点を置く「2地域居住」を支援するサイトを今年度中に一部の地域で試験的に開設し、来年度には本格的な運用を予定しています。

既に官民の双方が「都市と農村の交流」などをテーマにした多様なサイトを開設していますが、田舎暮らしに興味を持つ人が地域同士を比較したり、効率的に情報を集めたりするのが難しいのが現状です。そこで、GIS を利用して、都市住民が候補とする新住居と病院、スーパーなどとの位置関係が一目で分かるようにし、ブログ（日記）やソーシャル・ネットワークキング・サービス（SNS）を使って、都市と地方の住民が情報交換し、移住よりも心理的なハードルが低い「時々田舎暮らし」を推進し、週末や余暇は地方で過ごしてもらい、過疎化が懸念される地方に活力を呼び込めればと期待されています。

参考 <http://www.business-i.jp/news/sou-page/news/200705020027a.nwc>

情報通信を活用した農産物の高付加価値化

北海道総合通信局は、北海道テレコム懇談会と共催で、平成 18 年 6 月から「情報通信を活用した北海道における農産物の高付加価値化に関する調査検討会」を開催し、その結果を報告書として取りまとめました。

- (1) 生産分野における GIS を活用した精密農業システム、トレーサビリティシステム、販売分野における農産物補充システム、インターネットによる販売などの活用事例
- (2) 農業生産分野・販売分野での ICT※活用の推進、人材育成方策等それぞれの立場での留意点、課題を提示

・報告書の概要 <http://www.hokkaido-bt.go.jp/2007/img/0424agaiyo.pdf>

・報告書 <http://www.hokkaido-bt.go.jp/2007/img/0424a.pdf>

北海道総合通信局では、本報告書の成果を踏まえ農業分野における ICT の活用の促進に向けた取組を引き続き進めていくこととしています。

参考 <http://www.hokkaido-bt.go.jp/2007/0424a.htm>

※ICTとは、Information and Communication Technology の略で「情報通信技術」

次回の GIS News!

次回は、2007 年 6 月 11 日発行予定です。よろしくお付き合い下さい！

Geographic Information System

記事：協同組合山形県地理情報センター 佐藤秀紀 発行日：2007 年 5 月 8 日

